

# 新入局のごあいさつ

2024年度より群馬大学放射線治療科に入局しました、塩島寛太と申します。  
この場をお借りして自己紹介をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

出身は群馬県伊勢崎市です。高校は群馬県立前橋高等学校へ、  
大学は群馬大学医学部医学科へ進学しました。  
小学校～大学卒業まで、野球一筋でした。運動神経が残念な  
こともあり、野球以外のスポーツはほぼできません。  
祖父の影響で物心ついたときからの阪神ファンです。18年ぶ  
りの“アレ”は最高でした。

最近ではゴルフのラウンドに積極的に行ったり、運動不足を解  
消しようと必死です。

お酒、特に日本酒が大好きで、初期研修中にはワインにハマリ、  
学生時代から苦手だったウイスキーは最近克服しました。



東医体優勝年の決勝戦にて。相手のエラーで出塁した割にはドヤ顔。

がんを扱う医師になりたいという原点は、両親が医師ということもありましたが、祖父ががんを患い、  
その際に群馬大学病院でお世話になった経験も大きいと思います。

放射線治療科を志したきっかけは大学での臨床実習であり、全身・全年齢の癌種を扱えること、根治  
から緩和まで様々な役割があること、目まぐるしく発展を続けていることなどに大変魅力を感じまし  
た。

学生時代は野球部に所属しており、野球部を卒業された放射線治療科の先生方に様々な場面でお世  
話になったことも大変感謝しております。

初期研修は東京都板橋区にある板橋中央総合病院で行いました。生まれ育った群馬以外の土地、放  
射線治療が群馬ほどメジャーに知られていない環境で、様々な人間と接して様々な診療科を経験し  
たいと感じたからです。救急外来対応・様々なオペの執刀を経験し、主治医同然の裁量で患者さんと  
関わるなど、医師の基礎を築くことができた濃密な2年間でした。

入局1年目は臨床を重きを置きたいと思い、埼玉県立がんセンターで勤務しています。(分かっていた  
ことですが)放射線治療については初期研修でなかなか触れることができず、現在は放射線治療  
医としての自分の未熟さを日々痛感しながら、それでも周りの先生方・コメディカルの方々に支えて  
もらいつつ、有難いことに多くの患者さんを担当させていただいております。

長文にもなってしまったので、このあたりで挨拶を終了といたします。

放射線治療の魅力を全然語り尽くせてお  
らず恐縮ですが、とにかく見学や研修で  
放射線治療科を一度経験していただき  
たいです。研修医や学生の皆さんが少し  
でもこの分野に興味を持ち、将来の志望  
科として考えてくれたら嬉しいです。お  
待ちしています。



最近一番おいしかったビール。



研修仲間と富士山。